

李総統の訪日準備委、石原知事、参加へ

中国政府が強硬に反対姿勢をみせている台湾の李登輝総統の訪日問題をめぐり、自民党の村上正邦参院議員会長は七日朝、東京都内のホテルでの会合で石原慎太郎・東京都知事に

対し、李総統を退任後に日本に招くための準備委員会を発足させ、その発起人に加わるよう要請した。

石原氏は、この場では即答しなかったが、その後、記者団に対して「喜んで応じる」と述べ、発起人として訪日招請に動く考えを明らかにした。中国政府は退任後の李氏の訪日にも反対しており、村上氏らの招致運動が活発になれば日中間の新たな懸案となりそうだ。年内に予定されている朱鎔基首相の訪日

李総統は五月に総統職を退くが、今年十月に長野県松本市で開かれる日台の学者・文化人らによるフォーラムに参加したいという意向を示している。

李登輝氏来日準備委結成へ

自民党の村上参院議員会長は七日朝、都内のホテルで開いた自民、自由両党の合同勉強会で、(台湾の)李登輝総統に五月の退任後、私人として日本を最初に訪問してもらいたいと

述べ、李登輝氏の総統退任後の来日実現に向けて準備委員会を結成する考えを明らかにした。そのうえで、勉強会に講師として出席した石原慎太郎・東京都知事に発起人として参加を要請した。

石原氏は勉強会後、記者団に「李登輝氏の訪日は自分も個人的に考えていた。発起人は喜んで受けたい」と述べた。